

ふくちやまし

議会だより

2015
8



■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■平成27年8月発行 No.105

議会について学習しました
雀部小学校



主な内容

5月臨時会・6月定例会の概要 2

一般質問（17人が登壇）..... 3～11

予算審査委員会分科会・常任委員会の審査報告...12～13

請願・意見書の状況14～15

議員別議案賛否一覧表..... 16

討論・議会日誌 17

委員会の活動報告・市民の声 18

9月定例会の予定・お知らせ 19

元気やで福知山!「居母山クラブ」..... 20



京都府消防協会 福知山支部消防訓練

病児保育サービス事業を含む 全12議案を可決

「ヘイトスピーチ（差別的憎悪表現）に
反対し、その根絶のための法規制の
意見書提出に関する請願」
他4件を審査、意見書3件を提出！

5月12日から19日までの8日間にわたって5月臨時会を開催しました。

正副議長の選出、各委員会の構成を行いました。

また、平成27年度一般会計補正予算など6議案が市長から提案され、いずれも原案どおり可決および同意しました。

6月11日から7月3日までの23日間にわたっては、6月定例会を開催しました。

平成27年度一般会計補正予算など6議案が市長から提案され、いずれも原案どおり可決および同意しました。

また、市議会会議規則の一部改正を議員提案し、原案どおり可決しました。

さらに、「年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書の提出に関する請願」ほか4件の請願審査を行い、国に3件の意見書を提出しました。

なお、6月22日、23日、24日の3日間は、17人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり事務の執行状況や将来への方針などの所信をいただきました。（内容は3ページをご覧ください。）

5月臨時会で決まった主な案件

議長・副議長の選出、各委員会の構成

平成27年度補正予算(第1号)

(万円未満切捨)

一般会計補正予算

2900万円

○災害に強い森づくり事業

2800万円

平成26年8月豪雨により被災した山腹の治山工事

人 事

監査委員の選任、固定資産評価員の選任

6月定例会で決まった主な案件

平成27年度補正予算(第2号)

一般会計補正予算

1億3234万円

○ふるさと創生事業基金造成事業

9000万円

ふくちやまふるさと創生寄附金への指定寄附による基金積み立て

○地域子育て支援拠点移転整備事業

2020万円

公共施設マネジメントの一環として地域子育て支援ひろばの実施場所を移転、集約

条例の一部改正

市税条例、少年補導センター条例の2条例の一部改正

その他

工事請負契約の変更

人 事

固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の候補者の推薦

議員提案議案

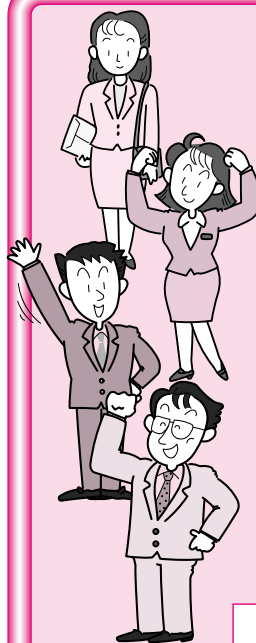
市議会会議規則の一部改正

女性議員が活躍できる環境整備、議会の活性化のため、出産に伴う議会の欠席についての規定を会議規則に明記

6月定例会

ここが聞きたい！

一般質問



●質問議員●

1. 日本共産党福知山市議員団
吉見 純男 議員
2. 福知山市議会公明党
足立 伸一 議員
3. 福知山未来の会
森下 賢司 議員
4. 希望の会
桐村 一彦 議員
5. 地域政党ふくちやま
荒川 浩司 議員
6. 福知山さぎすの会
奥藤 晃 議員
7. 蒼士会
高橋 正樹 議員
8. 日本共産党福知山市議員団
紀氏百合子 議員
9. 希望の会
高宮 辰郎 議員
10. 福知山未来の会
芦田 眞弘 議員
11. 日本共産党福知山市議員団
塩見卯太郎 議員
12. 日本共産党福知山市議員団
金澤 徹 議員
13. 地域政党ふくちやま
塩見 聡 議員
14. 福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員
15. 希望の会
藤田 守 議員
16. 希望の会
西田 信吾 議員
17. 日本共産党福知山市議員団
大槻富美子 議員

各会派から17議員が質問に登壇！

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。



日本共産党福知山市議員団

吉見 純男 議員

安保法案は廃案に

問 憲法違反がますます明らかとなった「安全保障関連法案」に、市長は反対すべきだが。

答 国の安全保障に関することは、まずは国会においてしっかりと慎重に、また

国民が納得できる議論をされるべきだと思っている。

問 市長自身は、安全保障関連法案は憲法に違反していないと考えているのか。

答 テレビ、新聞、国会審議、憲法学者の発言など注視している。個人的には問題があると思っているが、私的には、こういったことを論じる前に9条そのものを一回みんなで論じることの良いかと思っている。

(市長)

子ども医療費無料化を

問 本年9月より、京都府が実施する「子育て支援医療支給制度」の対象が中学校3年生まで拡充された。

答 他市町村は医療機関での窓口負担が200円であるのに本市では500円と遅れている。福知山市での「子どもの医療費」窓口負担の無料化をはかるべきだが。

答 総合的な子育て支援を取り組むという点では、他自治体と比べなら遅れて

自治基本条例年度内成立へ

いない。窓口負担金だけを捉えるなら、他市と比較すると負担は大きいと想定される。今後検討したい。

(福祉保健部長)

問 合併10年目を迎え、市政運営の基本原則、住民参加や協働の原則など新たな自治体運営の規範となる「自治基本条例」の策定を早く行い、住民自治の市政運営を進める必要があるが。

答 総合計画策定において市民から意見を聞くため「市民意見交換会」を年内に地域公民館などで行う事としている。その機会に条例案についても説明を行い、意見をいただく。パブリックコメントの実施も予定している。議会にも相談し、年度内の議会日程をめどに準備を進める。条例施行については、周知期間も必要であり一定期間の猶予が必要と考えている。

(市長公室長)



三和地域協議会事務所



福知山市議会公明党
足立 伸一 議員

豪雨災害と待ったなしの森林対策

問 豪雨がもたらした山林災害の現状と原因は。

答 一定の地域に集中した大雨で山腹崩壊が多数発生した。原因は山林の荒廃化にもよるが昨年の8月豪雨は林地保水力の限界を超え

た大雨であった。(市長)

問 治山・治水対策はどう進めるのか、今、危険な森林の把握はしているのか。

答 治水対策は河川整備や排水ポンプの強化など。市全体では川下から川上までの一体的整備が必要。治山対策は保水力の強化も必要。住居近くの危ない森林は本年4月施行の府条例で要適正管理森林として指定されることになる。

問 森林整備を加速すべきだが実情はどうか。

答 加速したいが担い手確保や機械整備、森林所有者の合意形成など多くの課題がある。(農林商工部長)

福知山市再生可能エネルギー活用プラン推進について

問 京都府は電力使用量に占める再生可能エネルギー割合の導入目標値を15年後に20%とした。市はどうか。

答 平成25年度は1・2%、目標値は30年度2・7%、35年度は6・4%である。

問 活用プラン推進体制は。全庁的取り組みへ向けて、意識の共有化を図り検討する。

問 木質バイオマスの活用策と課題について、大規模プラントは課題も多い。小規模バイオマス発電の検討を始めてはどうか。

答 木材やチップの生産などは入口、チップなど消費先の確保は出口に当たる。発電なら利用先の課題はなくなる。持続性、採算性の検討をしたい。

(環境政策室長)
問 観光施設整備の進め方は。やくの玄武岩公園の整備方針は。

答 用地取得し、公の施設とし、条例で管理する。その上で拡充やネットワーク化を図る。本年度は、所有者調査、境界確定などを進める。

問 観光客誘致計画立案に国が開発したビッグデータ活用のシステムとは。

答 (リーサス)を開発し提供している。(地域振興部長)
問 用地測量をとまなう事業に国土調査法の指定をうけ、地籍整備推進調査費補助金制度を活用しては。

答 有利であれば導入したい。(土木建設部長)



夜久野の玄武岩



福知山未来の会
森下 賢司 議員

空き家対策は

問 特別措置法が全面施行され、自治体の権限が強化されたが、本市の認識は。

答 所有者への立ち入り調査や指導に大きな権限が与えられ、空き家対策推進の上で大きなものとなる。今後研究して有効な方法を検討



危険空き家の解消に向けて有効な方法の検討が望まれる

討していきたい。

問 倒壊の恐れなどがある危険空き家の把握状況は。

答 一昨年の数値で市内に6770戸の空き家があるが、危険空き家の数は把握していない。今後データベ

選挙運営を考える

問 4月の市議選運営全般を振り返り、評価は。

答 市民からの提案事業を活用し、若い世代の期日前投票立会人を公募した。また、選挙公報音声版を視覚

障害者の方に配布した。今後も啓発や改革を続け、投票率向上に努めたい。

問 452力所のポスター掲示場の数を見直す考えは。

答 各投票区の有権者数と面積に基づいて設置しており、適切な数と考えている。

問 来夏から選挙権年齢が引き下がるが、若い世代への投票の関心を高める策は。

答 高校や中学校から依頼があれば、出前講座や資料提供などで協力したい。(選挙管理委員長)

8月豪雨災害の復旧と被災者支援

問 設置していた災害対策本部の活動を振り返り、評価と得られた教訓は何か。

答 取り得る体制の下で精一杯の対応をしたが、経験したことがない災害で、情報把握の困難さ、情報伝達の難しさ、安否確認や救助対応など、貴重な教訓だ。

問 被災者総合窓口での課題と教訓は何か。

答 実際に支援業務を担当する部署からの最新情報が

迅速に総合窓口へ届かず、被災者に適切に情報提供できない事例があった。迅速で確実な情報伝達の仕組み構築が必要だ。

問 災害ボランティアセンター運営の課題と対策は。

答 現地へボランティアを派遣する車両不足で配置に時間がかかるなどの課題があった。センター設置訓練実施や、災害ボランティアコーディネーター養成などを図っていきたい。(市長・危機管理監・福祉保健部長)



希望の会

桐村 一彦 議員

農村・中山間地 活性化対策は

問 荒れ放題の農地や山林が多い。10年先を見据えた対応策は。

答 放置された間伐材の整理や間伐材を切り出し、建築用材に使うことが荒廃森林の再生になり、出口対策

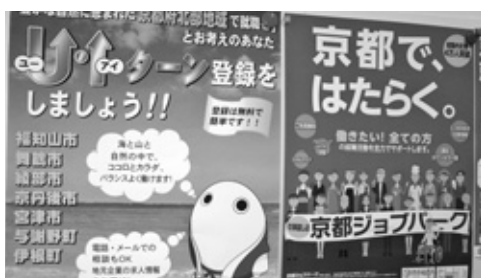
に力を入れていく。農地は高齢化や後継者不足で、個人での維持管理が難しくなっている。交付金の活用で地域ぐるみで維持管理されるよう推進したい。(市長)

雇用拡大の施策 対応は

問 ふるさと雇用拡大にむけた取り組みは。

答 福知山市雇用連絡会議を通じて、U・イターンにも力を入れ、地元雇用に向けた活動を行っている。
問 トップセールスは。

答 市長自らが福知山商工業関係8団体に出向き、地元雇用、求人協力要請を行っている。



京都ジョブパーク

問 行政からのアピールは。
答 就職希望高校生ワークシヨップや新規就職者意見交換会、相談会の実施を新規事業として取り組んでいる。(農林商工部長)

インフラの 経年対応は

問 上下水道管の平成26年度の事故件数と内容は。

答 上下水道管は排水管、給水管の漏水など161件で、大事故はない。下水道管(8月豪雨除く)は本管、取り付け管など20件。小規模な

もので即日修繕を基本に対応した。

問 今後の対応は。

答 上下道の経年管の更新は、計画的に行う。長田野町内の下水道管は高畑橋架け替えて、交通量の増加が予想されるため、管路の更新に早期に取り組みたい。(上下水道部長)

答 昨年の事案35件は、声かけ、写真、付きまといなどがあつた。先生、学校、家庭、警察との情報共有を図り事故防止に努める。(教育委員会理事)

問 上川口自治会において地域の防犯カメラ設置の動きがあるが、学校としての設置の状況は。

答 防犯対策上のカメラ設置は、学校施設の管理対策に必要とした場合に限り設置しているが、少数にとどまっている。(教育部長)

子どもを守る 対策は

問 福知山市安心安全メールで不審者情報が配信されているが対策は。



地域政党ふくちやま

荒川 浩司 議員

里山の復活は自伐 型林業の導入で

問 里山の復活は水害対策だけでなく「雇用の創出・人口増加・木材活用・有害鳥獣対策」などの多様な有様性があり、山林の多い福知山では地域再生の切り札と考える。また、自伐型林

業は副業をしながら少人数で取り組み、導入する自治体も増えており、多収入を得ている方もあり、導入すべきと考えるが、市の見解は。

答 自伐型林業は、こまめ



豊岡市でも始まっている自伐型林業

昨年の8月豪雨の 避難対応は人災では

問 17日の0時30分くらいから増水し、避難勧告が出た1時30分には、水没していたし、避難所も開いていなかった。人災では。また、今後の対応は。

答 天候の急激な変化に対

な間伐を続けることで長期的戦略を持った経営に有効。大規模な森林整備の隙間を埋める林業のあり方として並行して進める余地がある。(農林商工部長)

問 対応する事が難しかったのは事実であり、情報の収集や処理、住民の皆さんへのスムーズな避難の誘導などに課題を残した。被災された地域住民の皆さんや、地域を束ねていただいた自治会長の皆さんには、大きな負担や苦勞をかけ、辛い思いをさせたことについては心を痛めており、協力いただいたことに対して厚くお礼を申し上げます。今後の対応は、国・府・市の3者で進めていく、ハード・ソフト

平成25年福知山 花火大会露店爆発 事故2年を前に

問 主催者の谷村会頭は事故1年の記者会見で、「事故原因の究明(安全管理体制)を専門家を交えた第3者委

員会を立ち上げる意向をしめされ、早急に進めたい。」と述べられたが今だに進んでいないが、市長の見解は。

答 被害者への対応を最優先と考えている。その事が落ち着いてからの検討と考えている。

問 福知山花火大会の再開の考え方は。

答 治療中の方もおられ、被害者救済を第一に取り組んでいる。再開に向けての協議には至っていない。(地域振興部長)



福知山きずなの会

奥藤 晃 議員

2025年までの介護と介護需要と移住促進について

問 東京圏の高齢者の受け入れ先候補(全国41地域)に入った根拠は。

答 民間の有識者会議「日本創生会議」が、本年6月4日、東京圏の高齢者の医

療・介護の受け入れ余力のある全国41地域のひとつとして本市を含む中丹地域を選定した。急性期医療についての充実度は7段階評価で上から2番目、2040

年時点の需要に対する介護施設の受け入れ余力は7段階で4番目と評価され、医療・介護とも一定基盤の整った地域として総合評価されたものであると考えている。

問 受け入れに対して「医療・介護保険制度」などで

財政負担を懸念する自治体もあるが、「住所地特例制度」の活用は。

答 住所地特例制度とは、介護保険制度において、介護施設の立地市町村以外から施設に入所した方の保険給付については、転入前の市町村が負担するというもので財政負担は抑制される。ただ、市民の介護ニーズが満たされないという予測がある中で、施設での受け入れが可能となるのか、また市外からの高齢者が在宅介

護の場合、制度が適用されないため、財政負担が増加する。(福祉保健部長)

問 高齢者が移住すること介護士の育成、そして増員など雇用も考えられるが、そのメリットと逆に人材確保の課題など、両面があると考えられる。定住戦略としての評価と方向性は。

答 親世代である高齢者の移住に伴い、その子世代など、退職世代で移住するケースは定住施策として望ましいものであり、人口減少

の歯止めとして期待が寄せられる。地方創生における国のまち・ひと・しごと創生総合戦略においても地方移住の推進は大きな柱として位置づけられており、今後、本市においても移住・定住に結びつく施策を多面的に検討、取り組んでいきたい。

(地域振興部長)

オープンデータの考え方について

問 災害時の浸水状況を知らせる監視カメラをインターネットで流すという事業



オープンデータ化された浸水監視カメラ

が提案されたが、まさにオープンデータであり評価する。活用の促進を図る必要があると考えるが。

答 市民協働の取り組みとして、利便性向上に寄与すると認識している。他市を参考にしながら検討を進めていきたい。(総務部長)



蒼士会

高橋 正樹 議員

中心市街地活性化指標の通行量調査昨年実施で27%減

問 8年間取り組んだ中心市街地活性化基本計画が本年度で最終年度を迎えるが、効果達成見込みは。

答 通行量目標とする4200人に対し、平成26年度



商店街リニューアル事業の展開

は、3058人(27%減)となっており、達成は厳しい状況となっている。要因は、2年にわたる水害などによるイベント減少が大きく影響していると考えている。

問 まちの空洞化が益々進み、市街地の人口や通行者の減少を感じているようになっている。従来の行政主導・行政依存体質からの脱却は不可欠とされているが、事業終了後の方向性や展開はどのように。

答 現計画は平成28年3月までとなっており、ようやく形が見えてきた取り組みを進めていくためにも、継続したかたちで、平成28年2月に二期目の計画を申請し、国の認定を獲得してい

きたい。(農林商工部長)

成美大学短期大学募集停止は、なぜ

問 教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想の中で、短大は、地域社会にとつて大きな役割を担っており、重要な機関と位置づけられている。募集停止は、公立化の障害になる要素を排除し、経営救済しようとしているとしか見えないが。

答 現在の学園の厳しい経営状況、さらには過去最低の今年度入学者数を踏まえ、

学園自身が判断されて、募集停止されたと聞いている。しかし、短大そのものを廃止するというのではなく、過去には再度立ち上げられた経過もある。今後も充分検討していきたい。

公立大学に対し近隣自治体からの具体的協力は

問 京都府、また北部4市2町に対し、協力要請を行ったと報告があった。具体的な運営費の支援について回答をもらえたか。

答 運営費協力についての回答は得られていない。

公立大学の将来負担を残さず責任を負う覚悟を

問 将来展望を見誤った結果「e・ふくちやま事業は、100億円超の赤字が予想される。大学公立化賛成者は、後々まで責任を負う覚悟が必要では。

答 将来的には、地方交付税と学生納付金で運営ができるよう定員確保に努めていきたい。(市長公室長)



日本共産党福岡知山市会議員団
紀氏百合子 議員

特定空き家に緊急対策と相談窓口を

問 倒壊などの危険がある「特定空き家」は緊急対策が必要だ。解体助成や空き家相談専門窓口の設置を。
答 緊急なもの、消防、警察、関係機関などと連携して対応していきたい。相談窓口や解体助成は研究したい。（土木建設部長）



長年放置されて崩壊する空き家

空き家バンクの積極的活用を

問 空き家活用で町おこし

水洗便所改造に助成制度を

問 水洗化を普及するため改造助成制度の創設を。
答 水洗化には融資制度の

上下水道料金の負担の格差解消を

問 本市の上下水道は、水道、簡易水道、公共下水道、農村集落排水、合併浄化槽などの組み合わせで市民負担は6種類あり、金額に大きな差がある。市民の負担を減らす視点から料金の公平化を。
答 今後約2年をかけ、施設の統合や、公平で適正な料金などを議論したい。

「ふくちの村来^{むらびと}人」の積極的な増員と適正な処遇を

問 今後の増員計画は。予算は国の基準の7割だが、満額にすべきだ。給与は低すぎるので改善を。「臨時職員」ではなく「任期付一般職」とすべきではないか。
答 夜久野町と三和町以外には受け入れの要望がなかった。平成28年度は増員を検討する。給与や身分は勤務形態や業務内容で予算化した。国の交付枠とは別と

有害獣対策強化を

問 防護柵設置作業の助成や、わな猟の交流会を。
答 国の助成制度の継続を要望している。捕獲技術の実技指導など今後検討したい。（農林商工部長）

市道西ノ谷副谷線の事業促進を

問 早期完成への努力は。
答 合併前に用地買収が難航し中止した。緊急性の高い道路から改良している。（土木建設部長）



希望の会
高宮 辰郎 議員

治水・安全対策の現状は

問 市民の生命財産を守るためにも災害時の緊急避難道路として、国道175号線、176号線の三叉路付近の道路高上げが必要だが。
答 国道175号、国道176号の三叉路付近の道路

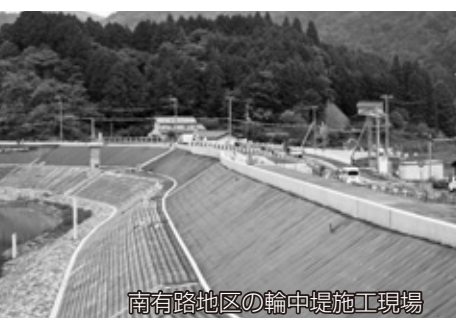
高上げについては、京都府の当初予算に箇所付けはされていないが、国道175号は避難路、緊急輸送路として、非常に重要な路線である。高上げにより冠水しない道路整備を京都府に粘り強く要望していきたい。

問 由良川緊急治水対策の

進捗状況と課題点は。

答 阿良須地区は、用地取得のため土地物件調書の作成が進められ、今後、用地の協議、契約が進められる。また、ほぼ全域が埋蔵文化財の包蔵地であり、今年度より、埋蔵文化財調査を実施する予定である。日藤・在田・二箇・下天津・筈巻地区については宅地高上げの実施が決定した。各種調査が進められ、補償契約の締結に今年度から着手できると国交省から聞いている。

中流部の川北・前田・戸田地区は今年度用地物件の補償契約を予定。私市地区では、築堤工事や水門工事が進められる。また、前田・川北・戸田・興・観音寺地区については河道掘削のための用地測量が予定されている。課題としては、築堤用地などの筆数が非常に多く、地権者が多数に上ることから、早期の用地取得が必要。宅地高上げは、予算を多く獲得して一日も早く対象者と契約したいと考え



南有路地区の輪中堤施工現場

ている。

問 由良川下流部緊急水防対策について、平成26年度末完成予定だがいまだに完成していない。工事の進捗状況を伺う。

答 由良川下流部緊急水防対策が遅れている。平成26年度末完成をめどに進められてきたが、昨年度、舞鶴市大川地区において堤防の沈下があった。その影響により、市内の北有路、南有路の工事が遅れることになった。北有路、南有路も軟弱地盤であり、慎重に地盤調査を行いながら施工されていることも遅延の一因と国土交通省から聞いている。（土木建設部長）



福知山未来の会

芦田 眞弘 議員

京都府北部地域連携都市圏の概要は

問 宣言の趣旨、制度の内容はどのようなものか。

答 北部5市2町がそれぞれの強みを生かし中核市に匹敵する公共サービスや都市機能を備えることで圏域全体の活性化を図ることが

目的である。新たな枠組みを創設することで財源を確保することを国に要望している。

(市長)

問 定住自立圏構想の進捗状況と関わりは。

答 本市は京都府内で唯一、中心市の要件を備えている。その重要性は認識されているが、個別の事情もあり協議は進展していない。今後は、双方の財源措置の優劣なども検討しながら協議を深めていきたい。

(市長公室長)

災害に強いまちづくりを

問 他市では聴覚障害者の方に文字が表示される戸別受信機を配備している。本市でも導入できないか。

答 既登録の聴覚障害者の方へは聴覚言語障害センターからFAX送信している。緊急告知ラジオでも受信時にライトが点灯する。文字表示による伝達是有効であり、配備している戸別受信機の機能付加などを研究していきたい。(危機管理監)

問 要配慮者の避難のあり方に対する取り組みは。

答 災害時における要配慮者への対応は重要な施策であり、災害時要配慮者名簿の充実を図るため、事業周知と登録の勧奨を行う。自治会長や民生児童委員への協力も強く依頼して、避難支援体制の推進を図ってきたい。(福祉保健部長)

男女共同参画社会推進の取り組みは

問 市民意識調査の結果はどのようなものであったか。

答 結婚や出産を契機に離職する女性が多く、女性の労働力を年齢別で比較した時、20代後半から30代後半までの就業率が低くなるM字カーブの現象がみられる。セクシャルハラスメントの経験の有無については、5年前の10人に1人から、6人に1人に増加している。

問 ハビネスふくちやまに設置される男女共同参画センターの特徴は。

答 女性活動支援ルームやワーキングルーム兼保育ル

ームを設置する。新たに女性弁護士による法律相談や、女性の就労支援として、働く女性を応援する事業を実施し、M字カーブの解消を目指した取り組みをしている。

(人権推進室長)



男女共同参画センターが設置されるハビネスふくちやま



日本共産党福知山市会議員団

塩見 卯太郎 議員

4年制大学の開学は拙速であり強引な進め方は認められない

問 節目、節目で拙速ではなかったか。

答 有識者会議での検討や、市民アンケートで市民の声も聴いた。拙速とは考えて



成美大短期大学の校舎

いない。今後も一丸となって取り組んでいく。

問 短大の廃止や学部学科の変更は、基本構想を変更すべきだが。

答 短大は学園が募集停止されたが廃止はされていない。

問 市単独の公立化は財政に大きく影響する。財政の確たる見通しは。

答 初年度は市の負担は必要である。定員充足で黒字を目指す。定員の充足率が80%、60%の場合の財政シミュレーションを示した。

2年連続の災害に對する復旧と防災対策を

問 赤字が続く成美学園がなぜ公立化を目指す学生の募集をすすめ、経費の負担もするのか。

答 まだ公立大学でないのも、募集の主体は学園になる。市も連携して取り組む。費用は、学園からは「予算がある」と報告を受けている。定款議決後は市も負担して学園としっかり協議していく。(市長公室長)

問 国・府・市の3者の治水対策と土師地域の進捗と、台風、出水期までの対策は。

答 国は排水機の詳細設計を、府は弘法川、法川の詳細設計を、市は土師貯留槽建設や防災ライブカメラを設置してきた。ソフト面では、ハザードマップ、土の配置を進めている。出水期に排水ポンプ車3台で不足する場合は近畿地建に要請する。(土木建設部長)

問 災害見舞金支給と住宅再建支援の取り組みと課題

問 土砂災害危険区域の対策は。

答 本市は2260カ所指定された。ハザードマップ配布、個別受信機の充実を図る。(危機管理監)



日本共産党福岡山口市議員団

金澤 徹 議員

問 交渉の影響は。試算はしていない。水稲が中心なので、米価への影響が予想されるが、今後の農政の動きに注視する。

(農林商工部長)

農業・地域破壊のTPP交渉撤退を

問 農産物5品目関税撤廃以外の国会決議の遵守を求めるべきだが。

答 平成26年全国市長会重点提言にあったように国会決議を遵守していただきたい。(農林商工部長)

農協改革関連法案廃案で農協を守れ

問 協同組合組織の農協を守る立場か。

答 今後とも農家に頼られる協同組合として役割をはたしていただきたい。(市長)



ソーラーシェアリング見学会

市民協働型発電システムの普及を

問 市民協働型発電システム

ムによる太陽光発電屋根貸し事業を市所有の遊休地も対象にすべきだが。

答 遊休所有地も候補地と考え、慎重に判断したい。

問 このシステムを普及させるには、行政主導が重要。

答 行政側でアクションがなければ、進展しない。市民への再エネ意識を高めるため、広報活動や講演会などの開催で啓発に努める。

(環境政策室長)

住宅用太陽光発電設置補助の継続を

問 設置補助が半減されたが、復活継続と市民協働型発電でも設置補助支援を。

答 住宅用の設置補助の継続は検討課題と考えている。市民協働型は平成28年度に実現性について検討予定だ。

(環境政策室長)

丹州材活用促進事業の拡充を

問 身障者や高齢者対象の住宅改修、耐震改修、被災者住宅等支援事業に丹州材の積み上げ助成と木材の使用数量が少ない物件にも

ぜ

答 より実効性のある方策について検討する。(財務部長)

公契約条例制定を

問 今年度が達成予定となっている市長マニフェスト「公契約条例」の検討内容や進捗状況は。

答 より実効性のある方策について検討する。(財務部長)

(農林商工部長)



地域政党ぶくちやま

塩見 聡 議員

成美大学公立化問題について

問 少子化と進学率の伸び悩みに伴う進学者数の減少にどのように対処するのか。

答 北近畿の低い進学率を改善し、経済的に進学を諦めていた層にもアピールし、需要を掘り起こしていく。

地方から都会へという流れを、都会から地方へと変える大学を目指していきたい。

問 国立大学の授業料を私立大学並に引き上げる財務省提案により、公立大学の優位性が失われるのでは。

答 今後の動向に注視していくが、安さだけではなく、大学自身の魅力を高め、多くの学生が学びたいと思える大学を目指して取り組みたい。

問 短期大学は募集停止であり廃止ではないとの事だが、どうしているのか。

答 現在は募集停止であり、在校生が卒業し、廃止届が文科省に正式に提出されて初めて廃止になる。短大については平成27年度以降にさまざまな方向性を踏まえて検討していく。

問 成美大学、短期大学部は同じ法人であり施設を共用しているが、新大学では別法人になるが。

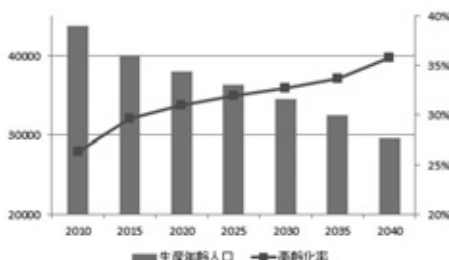
答 短期大学と共用していく方向で調整している。(市長公室長)

超高齢化、少子化現役世代激減など対策と方針は

問 健康寿命の延伸と予防医療について。

答 保健・福祉・医療・介護が一体となり予防医療を推進していく事で、健康寿命を延ばし、いきいきとすこやかな老後を過ごしていく事に繋げ、医療費や介護給付費の抑制など財政負担を軽減し、総合的な健康づくりを推進していく。

(健康推進室長)



生産年齢人口と高齢化率の推移

問 本市の出生率本州2位と高い要因は何か。

答 要因の特定はできていないが、20代から30代前半までの出生率が高い、若年世代の転入が多い、共働き世帯が多いなど本市ならではの特徴がある。

(福祉保健部長)

問 若年世代の低賃金が結婚離れ・晩婚化・高齢出産・少子化などの要因の一つだが対策は。

答 試行雇用応援助成金制度を実施し、雇用機会の創出や正規雇用の促進に努めている。(農林商工部長)



福知山市議会公明党

吉見 茂久 議員

高齢化を見据えた 今後の取り組みは

問 地域の中で介護予防、生活支援を実施する人材の発掘や養成は。

答 ふれあい生き生きサロンを支えている地域のボランティア、民生児童委員、自治会長、また、老人会や

女性の会の方の中から基礎的な介護の知識やスキルを持つ市民介護士を養成したい。そして地域リーダーとして役割を担っていただき、支え合いの地域づくりを目指したい。(福祉保健部長)

持続可能な地域 づくりを

問 地域再生の取り組みとして有効な小さな拠点づくりについて本市の見解は。

答 小さな拠点はこれからの持続可能な地域づくりを考える上で一つの有効手段

として、その必要性から検討していくべきと受け止めている。三和地域においても小さな拠点の福知山市モデルとして位置づけられな

通網などで結ぶことでネットワークを築き生活基盤を確保する考え方だ。地域において住みやすいまちづくりを住民主体で行うにはどうすれば良いか、行政も積極的に支援をしていきたい。

生活困窮者自立 支援の取り組みは

問 相談後の出口対策として各関係機関との連携は。

答 効果的な自立支援を行うためにはハローワーク、社会福祉協議会などの各関

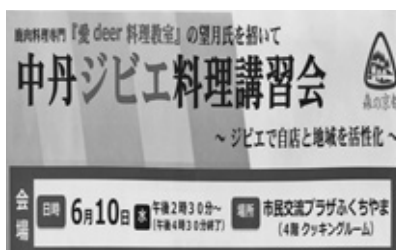
係機関との連携は最も重要であり、包括的に支援するためのネットワークの構築が必要だ。(福祉保健部長)

捕獲した鳥獣の 資源活用を

問 京都府は捕獲した鳥獣を食肉として活用の推進を図っているが見解は。

答 市内で鹿肉などの消費を拡大していくためにも府の取り組みは利用拡大につ

いる。まず、有害鳥獣処理施設の運営を軌道に乗せ、その後、鹿肉などの利用拡大について研究を進めていきたい。(農林商工部長)



京都府主催で開催された
ジビエ講習会



希望の会

藤田 守 議員

災害に強い安心 安全なまちづくり

問 平成26年8月豪雨の農地農業用施設の復旧は。

答 被害は田畑530件、ため池・農道・水路などの農業用施設497件であった。土砂流入の被害が特に大きかった、ため池11カ所



8月豪雨土砂崩れ跡(中六人部:笹場)

は国の補助を受けて直す。**問** 地域の消防力・防災力の強化対策は。

答 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に取り組み、機能強化や消防団員の確保に全力を挙げたい。

(市長・消防長)

定住と交流の活力 あるまちづくり

問 道路などの整備状況は。

答 平成26年度は145自治体から560件の要望を受け275件52・7%の実

率である。生活道を優先して整備にあたっているが要望に十分応えられていないのが現状である。

問 橋りょうの修繕は。

答 市が管理している橋りょうは1101橋で、平成26年度末で366橋点検をして255橋の修繕計画を

たてた。(土木建設部長)

安心して暮らせる まちづくり

問 介護人材の現況は。

答 5月の調査で介護保健施設と事業所が昨年度から120人増えて1160人

で204人不足している。障害福祉施設と事業所が28人増えて438人だが、47人不足となっている。

問 障害福祉サービスは。

答 障害の特性に応じた多様な活動の場の整備、雇用・就労の場の確保、地域生活

への移行の促進と暮らしの支援に努めたい。

まちの活気づくり

問 過疎・高齢化集落の維持、再生、活性化は。

答 過疎・高齢化集落が急速に増えている。平成25年度から65歳以上の方が50%を占める25集落に2名の支援員を配置して課題解決に

向けた相談にあたっている。また、集落事業への助言や協力して活力向上を図っている。

(福祉保健部長)

問 中丹地域有害鳥獣処理施設の要領は。

答 1回で380kgまで処理でき一日2回焼却処分をする。(農林商工部長)



ゆかいな居山クラブの皆さま(夜久野:直見)



希望の会

西田 信吾 議員

人口減少対策に 定住自立圏制度を

問 定住自立圏構想の概要と評価は。

答 人口5万人程度以上で昼間人口の多い中心市と近隣市町で圏域をつくり、医療、福祉、防災、産業振興、公共交通などで連携事業を

行う。特別交付税などの支援措置がある。京都府北部の発展に重要な制度であり、活用し理解を深めていく。

(市長・市長公室長)

問 近隣市町とはどこか。協議実績は。中心市宣言をしないのは何故か。

答 舞鶴市、綾部市、宮津市、与謝野町、丹波市、朝来市が考えられる。協議は進めている。制度の重要性は共有しているが、十分な理解は得られていない。中心市宣言をするにはその後

市民サービス向上 職員健康管理対策

問 市民からの意見要望および苦情の対応状況は。

答 市民相談室での昨年の相談は877件で前年から97件増加した。相談室から担当課につなぎ組織的に対応している。(市長公室長)



市民課窓口

問 市職員の健康管理は。

答 年に1回の健康診断、月に1回の産業医による相談がある。有所見率は5割強で推移している。

問 超過勤務状況は。

答 増加傾向にある。災害対応などで農林、税務部局が多い。超過勤務と健康は少なからず影響がある。

問 メンタルヘルス不調による休職者はいるか。

答 6名いる。職場復帰対策を講じている。予防対策として心の相談室開設や研修、ストレスチェックを行っている。(総務部長)

公共交通事業運営

問 路線バスの利用状況は。



路線バス(堀循環線)

答 民間、自主運行、市バスの計30路線全て赤字である。利用者の減少が続き、特に周辺部が著しい。高齢者の免許証返納は増加している。今後はニーズを把握し、公共交通網形成計画を策定する。

(市民人権環境部長)



日本共産党福知山市議員団

大槻富美子 議員

原子力災害時、 時間差避難は可能か

問 府の避難計画は5kmから20km圏の避難者の90%が30km圏から離れた時点で大江町約600人の避難が開始される。過酷事故時、放射能漏えいは1時間半後に始まる。5km圏の人が避難

完了まで最短で6時間10分、最長で8時間かかるとしている。他地域の避難完了を待っている間に住民は被曝する。また、風向きに応じた避難場所を前もって設定するべきだ。

答 スムーズな避難のために府の方針に従う必要があるが混乱も予測され、市民を守るための判断も必要だ。風向が南なら西方面の夜久野の避難所となる。

問 国は指針改定で「スピーディーを活用しない」と

したが対策は。

答 遠隔操作によるモニタリングポストを有路下体育館に設置されると聞く。

(危機管理監)



大江地域原子力防災訓練から(2013年)

介護保険料の 引き下げを

問 4月の保険料引き上げで基準額が、5983円とになった。介護保険料の値上げが止まらない。一般会計の繰り入れで保険料引き下げを。

答 「一般財源の繰り入れは不適切である」と国から指導を受け、市の財政状況も厳しい。(福祉保健部長)

学校統廃合、 小中一貫校は

問 文科省は、小規模校の

速やかな統廃合を求めているが、市の方向は。大江地域では若者定住のための住宅も空き家も多くある。家賃も引き下げて、広く広報し人口増を図る努力を。

答 複式学級の解消を優先課題とし、保護者、地域の方々と統廃合について議論を深めたい。地域的な要件が整えば施設一体型小中一貫校の設置も検討。地域づくりと学校教育は切り離して考えるべきだ。

教師の多忙解消を

問 教員の多くが「過労死ライン」の月80時間を超えている時間外勤務をしている。残業時間の実態把握は。子育て中の教職員への配慮は。

答 平成27年4月で時間外勤務60時間以上80時間未満が36名、80時間以上100時間未満が26名、100時間以上が20名だった。子育て中の教員には、育児短時間勤務制度などがある。今後、勤務時間の縮減に努めていく。

(教育長・教育委員会理事)

5月臨時会、6月定例会 予算審査委員会分科会・委員会報告

総務防災

市税条例の一部改正、市庁舎耐震改修工事の契約変更などを審査

予算審査委員会分科会

市税条例の一部改正

問 本市のふるさと納税への特典の状況は。

答 平成26年度までは2000円の特産品であったが、平成27年度からは1万円以上の納税者は4000円相当の記念品、施設入場券、5000円以上1万円未満の方は施設入場券としておりPRに努めたい。

委員会

市税条例の一部を改正する条例の制定

問 特例税率廃止後の旧3級品の製造たばこの価格はどのようになるのか。

答 6品種ある現在の価格は210円から260円である。廃止後は410円から450円となる見込み。

問 税収見込みと健康志向の傾向をどのように捉えているか。

答 平成26年度のたばこ税調定額7億652万5000円のうち、3級品の占める割合は2・3%で1652万1000円。特例税率廃止時には3484万3000円の試算になるが、価格が上昇することで止められる方もあるのではないかと（全員賛成で可決）

工事請負契約の変更

問 市庁舎耐震改修工事に関して、今回が2度目の変更である。設計段階である程度の予想ができないものか。

答 新築の場合は、基本的に差異はないが、今回のような大規模改修工事については、建設時の設計図面に基づく設計のため、一部に差異が生じることがある。また、地中工事では、予期せぬ埋設物があるなど、工事変更をすることもある。

問 今回の工事請負契約の

変更に対して、予算の増額補正は必要ないのか。

答 昨年6月の補正予算の範囲内で対応ができる。（全員賛成で可決）



耐震工事がすすむ市庁舎

請願審査

●憲法9条に違反すると懸念される「国際平和支援法」その他10の改正法を内容とする法案の徹底した審議を求め、特に福知山市民である自衛隊員の生命の危険のリスクが高まると危惧される内容について慎重な審議を求める意見書提出を求める請願（賛成多数で採択）

●安全保障関連法案の拙速な採決をやめ、慎重審議の意見書提出を求める請願（賛成多数で採択）

（賛成多数で採択）

市民地域

ふるさと創生事業基金造成事業や「コミュニティ助成事業」などを審査

予算審査委員会分科会

専決処分の承認

問 国民健康保険条例の一部改正への専決処分についての議案であるが、そもそも、どのような改正なのか。

答 国民健康保険制度の広域化と、保険財政基盤強化策の恒久化措置である。強化策の内容は保険者支援制度（保険料の軽減対象者に応じた保険者への公費投入を増やす）および、都道府県単位の高額医療費共同事業・保険財政共同安定化事業などを通じて保険財政の安定化を図るものである。

ふるさと創生事業基金造成事業

問 ふるさと創生事業基金とは。

答 かつての竹下内閣のふるさと創生事業の際に創設された基金である。福知山市の将来を担う人材育成資金として指定寄附がされたためこの基金に積み立てた、ふるさと創生事業および人材育成に活用する予定である。

金として指定寄附がされたためこの基金に積み立てた、ふるさと創生事業および人材育成に活用する予定である。

委員会

請願審査

●年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書の提出に関する請願（賛成多数で採択）

●ヘイトスピーチ（差別的憎悪表現）に反対し、その根絶のための法規制の意見書提出に関する請願（賛成多数で採択）

●労働者派遣法・労働基準法改正法案撤回の意見書提出を求める請願（賛成多数で採択）



健康遊具など設置予定場所(土師町)

答 宝くじの事業収入を財源に一般財団法人自治総合センターが運営している。申請に基づき採択された助成金が福知山市を経由して土師町自治会に交付される



病児保育サービスが開始される

予算審査委員会分科会

子どもの医療費

窓口負担の引き下げは

府の子育て支援医療費支給事業が平成27年9月から中学校3年生（現在小学校6年生）まで拡充される。

問 通院1日500円は府下最高額だ。引き下げを。

答 引き下げるかどうかは子育て支援策全体の中で検討する。

地域子育て支援広場が拡充される

アオイ通りの子育て拠点施設を岡ノ三老人施設「おかの里」に移転し、プレイルームを増築する。

問 複合施設となるが事業効果は。

答 昼は子育て支援事業に、夜は集会所として利用し、効率の高い施設運営を行う。

病児保育サービスの開始

子どもの病気が原因で、やむを得ず仕事を休むとい



子どもがあふれるまちを目指して

当面は月曜から金曜日だ。

障害福祉施設整備事業

「障害福祉サービス事業所ちくもう」が8月豪雨により甚大な被害を受けた。災害復旧工事を国庫補助で行い、市が10分の1を補助する。

委員会

市少年補導センターの一部を改正する条例制定

センターの移転に伴い、所在地を改める。

問 今までどこに所在し、新たにどこに配置するのか。

答 昭和47年に設立され、当初は市民会館3階に事務所を構えた。その後、青年ホームに移転したが、今

回は庁舎6階に配置する。
（全員賛成で可決）

災害に強い森づくり事業、治山事業、美しい農村再生支援事業などを審査

予算審査委員会分科会

災害に強い森づくり事業

問 災害に強い森づくり事業の委託時期は。

答 平成26年度に多くの申請があったため、事業採択が27年度にずれ込んだ。秋ごろには工事発注する予定である。

問 平成26年8月豪雨災害の復旧状況と、治山治水事業の今後の見通しは。

答 特に溪流などの甚大な被害があった8カ所については、既に京都府災害関連緊急治山事業で工事発注をしている。その他の治山事業についても府に要望している。市で担当する小規模治山事業は、昨年の豪雨災害対応として、計5地区の事業に取り組んでいる。

美しい農村再生支援事業

問 美しい農村再生支援事業の補助金はどのような場合に適用されるのか。

答 棚田100選、疏水100選など、昔からある農村の美しい資源の保全に対する国の支援である。景観計画などを策定している地域が対象となる。



大江町毛原の棚田風景

ふくちやま復興プレミアム

問 商品券発行事業の経済的効果は。

答 今後アンケートを実施し、経済効果を分析していく予定である。



ふくちやま復興プレミアム商品券

ポンプ場施設災害復旧事業

問 査定額の保留解除とは。

答 4億円を越える事業は現地の査定後、本省預かりとなり、「保留」扱いとなる。保留解除となるまでは、本復旧工事に着工することができなかった。

請 願 の 状 況

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書の提出に関する請願

請 願 者／連合京都福知山地区協議会 代表 大西 正樹 氏（福知山市昭和新町101-3 福知山市立労働会館内）

紹介議員／芦田眞弘、野田勝康、木戸正隆、吉見純男

■目 的 厚生年金保険法等の規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持するよう、国に対して意見書の提出を求める。

■議決結果 採択

憲法9条に違反すると懸念される「国際平和支援法」その他10の改正法を内容とする法案の徹底した審議を求め、特に福知山市民である自衛隊員の生命の危険のリスクが高まると危惧される内容について慎重な審議を求める意見書提出を求める請願

請 願 者／福知山9条の会 代表 宮本 平一 氏（福知山市北本町二区159番地 福天教育会館内）

大江9条の会 代表 井上 義治 氏（福知山市大江町尾藤1141番地）

三和9条の会 代表 樋口 功三 氏（福知山市三和町千束66番地の66）

夜久野9条の会 代表 夜久 弘明 氏（福知山市夜久野町平野364番地）

紹介議員／塩見卯太郎、金澤徹、大槻富美子、紀氏百合子

■目 的 憲法9条に違反し、自衛隊員の生命の危険のリスクが高まると危惧される現在国会審議中の安全保障関連法案について、自衛隊駐屯地を持ち自衛隊員を市民に持つ福知山の市議会として、衆・参両院議長および内閣総理大臣に慎重な審議を求める。

■議決結果 不採択

ヘイトスピーチ（差別的憎悪表現）に反対しその根絶のための法規制の意見書提出に関する請願

請 願 者／部落解放同盟福知山地区協議会 議長 西田 輝雄 氏（福知山市岡ノ二町10番地）

紹介議員／木戸正隆、森下賢司、桐村一彦、吉見茂久、野田勝康

■目 的 ヘイトスピーチに対し毅然とした立場で臨み、ヘイトスピーチ根絶のための国内法の整備を進めるよう、国に対しての意見書の提出を求める。

■議決結果 採択

労働者派遣法・労働基準法改正法案撤回の意見書提出を求める請願

請 願 者／福知山地方労働組合協議会 議長 奥井 正美 氏（福知山市昭和新町101-3 労働会館内）

紹介議員／塩見卯太郎、紀氏百合子

■目 的 労働者派遣法改正法案の撤回、労働基準法改正法案の撤回に対して意見書の提出を求める。

■議決結果 採択

安全保障関連法案の拙速な採決をやめ、慎重審議の意見書提出を求める請願

請 願 者／福知山母親連絡会 代 表 水谷 直美 氏（福知山市三和町千束147番地）

新日本婦人の会福知山支部 支部長 中川 淑子 氏（福知山市下新29-1番地）

新日本婦人の会大江支部 支部長 山田まゆ美 氏（福知山市大江町三河353-2番地）

紹介議員／大槻富美子、紀氏百合子

■目 的 「国際平和支援法案」と「平和安全法整備法案」の拙速な採決をやめ、慎重審議を求める意見書を国に提出することを求める。

■議決結果 不採択

意 見 書 の 状 況

労働者派遣法・労働基準法改正法案の撤回を求める意見書

労働者派遣法改正法案と労働基準法改正法案が、今国会に提出された。

労働者派遣法改正法案は、これまで原則1年（最長3年）となっていた企業が派遣労働者を受け入れることができる期間を事実上撤廃するもので、企業が派遣労働者を増やし、「生涯派遣・正社員ゼロ」とすることも可能にするものである。また、労働基準法改正法案は、労働時間の規制をなくし、残業代も深夜・休日手当も払わず長時間働かせる「残業代ゼロ」の労働を導入するものである。労働法制を抜本改善する法案は、断じて許されるものではない。

労働基準法第1条に「労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきもの」とあるように、労働法制は本来、労働条件の向上を目指すものである。正社員を「ゼロ」にし非正規雇用を拡大したり、残業代を「ゼロ」にして「過労死」するまで長時間働かせたりするなどというのはまったく論外である。

しかも、労働者派遣法改正法案は、これまで2回国会に提出されたが、国民の反対のなか廃案になっており、同じ中身の法案を3回も国会に提出し成立を目指すこと自体、議会制民主主義を踏みにじるものである。また、労働基準法改正法案は、政府と財界だけで結論をまとめ、政府の審議会でも労働者側が賛成していないにもかかわらず、政府が法案提出を押し切ったものである。

よって、国におかれては、労働者派遣法改正法案と労働基準法改正法案を撤回するよう求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年7月3日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 様

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書

公的年金は高齢者世帯収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活している。また、高齢化率の高い都道府県では所得の17%前後、家計の最終消費支出の20%前後を占めているなど、年金は老後の生活保障の柱となっている。

そのような中で、政府は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）に対し、リスク性資産割合を高める方向での年金積立金の運用の見直しを求め、昨年10月31日に国内・国外株式比率を各25%に倍増することを認可・公表し、ハイリスク・ハイリターンの危険な運用をしようとしている。年金積立金は、厚生年金保険法等の規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきものと考ええる。

さらに、GPIFには保険料拠出者である被保険者の意思を反映できるガバナンス体制がなく、被保険者の意思確認がないまま一方的に見直しの方向性を示すことは、国民の年金制度に対する信頼を損なう可能性がある。また、リスク性資産割合を高め、年金積立金が毀損した場合の仕組みが作られていない中では、事業主及び従業員といった被保険者・受給者が被害を被ることになりかねない。

こうした現状に鑑み、本議会は政府に対し、下記の事項を強く要望する。

記

- 1 年金積立金は、厚生年金保険法等の規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すること。
- 2 これまで安全資産とされてきた国内債券中心の運用から、株式等のリスク性資産割合を高める方向での急激な変更は、年金削減や保険料引き上げにもなりうることから、国民の年金制度に対する信頼を損なう可能性がある。また、国民の財産である年金積立金を毀損しかねないため、被保険者の利益を第一に考えた運用とすること。
- 3 GPIFにおいて、被保険者の利益を第一に考えた運用が確実に行われるよう、保険料拠出者である労使をはじめとするステークホルダーが参画するガバナンス体制を構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年7月3日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 様

ヘイトスピーチ（差別的憎悪表現）に反対し、その根絶のための法規制を求める意見書

ヘイトスピーチが、近年、社会問題化している。

平成26年12月9日、最高裁判所は、在日コリアンの子どもらが通学する京都朝鮮第一初級学校の付近に於いて「朝鮮人を保健所で処分しろ」、「スパイの子ども」、「日本からたたき出せ」、「ゴキブリ、ウジムシ、朝鮮半島へ帰れ」等大音量で連呼するなど、在日コリアンに対するいわゆるヘイトスピーチを行った団体及びその構成員らの上告を退け、これらの行為を人種差別と認め、賠償の支払いと街宣活動の差し止めを命じた大阪高裁判決が確定した。

ヘイトスピーチが憲法及び我が国も批准する人種差別撤廃条約の趣旨に照らして許されないと司法の明確な判断が下された。

奈良県においても平成23年、御所市の水平社博物館前において、差別用語を用いて被差別部落の住民や出身者を差別・侮辱する街頭宣伝行為を行ったことに対し、奈良地方裁判所はこれを差別と認め、損害賠償を命じる判決を言い渡し確定している。

国連人種差別撤廃委員会は平成26年8月29日、異なる人種や少数民族に対する差別をあおるヘイトスピーチを行った個人や団体に対して、「捜査を行い、必要な場合に起訴すべきだ」と日本政府に対して勧告した。

福知山市においても、人間の存在や命の尊厳を侵すことなく、他者の存在を認めて生きるとともに、一人ひとりが、かけがえのない存在であることを認識し、あらゆる機会に、あらゆる方法で実施される人権施策を通して、人権という普遍的文化の創造と市民が主体となって基本理念である「共に幸せを生きる」共生社会の実現に努めている。

しかし、福知山市内でも平成25年6月にヘイトスピーチが行われている。

福知山市には848人の外国籍の人たちが在住しているが、これらの人たちの生存権をおびやかすものである。

ヘイトスピーチは、特定の個人を対象にした場合には刑法上の処罰や民法上の損害賠償を求めることは可能だが、不特定多数を対象にした場合にはいかに傷ついても現行法上は対応できない。

よって、政府におかれてはヘイトスピーチに対し毅然とした立場で臨み、ヘイトスピーチ根絶のための国内法の整備を進めるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年7月3日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 法務大臣 総務大臣 様

■請 願とは：市民の皆さんの意見や要望を議会に提出いただくことです。1名以上の議員の紹介が必要です。

■意見書とは：市の公益にかかる事柄を、議員が発案し本会議にはかり、議長名で関係機関に提出することです。

5 月臨時会・6 月定例市議会の議決結果について

■全員賛成で可決となった議案

議第7号	平成27年度一般会計補正予算(第2号)	議第12号	人権擁護委員の候補者の推薦(植村泰興さん)
議第8号	市税条例の一部改正	市会発議第8号	市議会会議規則の一部改正
議第9号	少年補導センター条例の一部改正	市会発意第3号	ヘイトスピーチ(差別的憎悪表現)に反対し、その根絶のための法規制を求める意見書
議第10号	工事請負契約の変更		
議第11号	固定資産評価審査委員会委員の選任(乾 卓一郎さん)		

■議員別議案賛否一覧表(賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議 案		議決結果	会派別議員名 (議決結果)					日本共産党 市会議員団					福知山 市議会 公明党			福知山 未来の会				希望の会				地域政 党ふく ちやま		福知山 さずなの会				蒼 士 会	
			塩見 卯太郎	吉見 純男	大槻 富美子	紀氏 百合子	金澤 徹	足立 伸一	大谷 洋介	吉見 茂久	森下 賢司	芦田 眞弘	竹本 和也	中嶋 守	桐村 一彦	藤田 守	田淵 裕二	西田 信吾	高宮 辰郎	荒川 浩司	塩見 聡	奥藤 晃	木戸 正隆	柴田 実	井上 修	野田 勝康	高橋 正樹				
第1号	平成27年度一般会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第2号	専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第3号	専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第4号	専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第5号	監査委員の選任(大谷洋介さん)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第6号	固定資産評価員の選任(夜久豊基さん)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
請願 第3号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書の提出に関する請願	採択	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
請願 第4号	憲法9条に違反すると懸念される「国際平和支援法」その他10の改正法を内容とする法案の徹底した審議を求め、特に福知山市民である自衛隊員の生命の危険のリスクが高まると危惧される内容について慎重な審議を求める意見書提出を求める請願	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○			
請願 第5号	ヘイトスピーチ(差別的憎悪表現)に反対し、その根絶のための法規制の意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○			
請願 第6号	労働者派遣法・労働基準法改正法案撤回の意見書提出を求める請願	採択	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
請願 第7号	安全保障関連法案の拙速な採決をやめ、慎重審議の意見書提出を求める請願	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○			
市会発意 第1号	マイナンバー制度の10月からの実施の中止を求める意見書	否	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
市会発意 第2号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書	可	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
市会発意 第4号	労働者派遣法・労働基準法改正法案の撤回を求める意見書	可	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 -：棄権

※田中法男議員(福知山未来の会)は、議長職のため表決に加わっていません。

討 論

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書の提出に関する請願

〔反 対〕

桐 村 一 彦

運用は国際分散投資で行い、10年以上が効果的・効率的であるということが、経験則や投資理論で証明されている。ハイリスク・ハイリターンという言葉は、短期的な投機運用で使用される言葉であり、年金資金のような長期的運用に対して使用する言葉でない。また被保険者に不安を煽るような言い回しは慎むべきである。

〔賛 成〕

芦 田 眞 弘

運用比率の見直しにより大幅損失が生じ年金積立金が毀損した場合、GPIFが責任を取れるはずもなく、被保険者・受給者が被害を被る。GPIFには被保険者の意思を反映できる仕組みがない。年金制度全体への不信を回避するためにも、労使をはじめとする利害関係者が参画し、意思を反映するガバナンス体制が求められている。

憲法9条に違反すると懸念される「国際平和支援法」その他10の改正法を内容とする法案の徹底した審議を求め、特に福岡山市民である自衛隊員の生命の危険のリスクが高まると危惧される内容について慎重な審議を求める意見書提出を求める請願

〔反 対〕

藤 田 守

本請願は違憲であり廃案にすべきであるという意見書である。徹底した審議は当然必要であり会期が95日間延長された。また、自衛隊員のリスクが高いから任務を放棄することはありえない。根本は、戦後70年憲法解釈がうやむやにされてきたことによるもので、今、社会情勢の激変の時、真剣に議論し決断しなければいけない。

〔賛 成〕

紀 氏 百合子

安全保障関連2法案は、我が国を再び戦争する国にするもので、市民である自衛隊員の生命の危険のリスクが高まるおそれがある。日経の世論調査でも、「違憲」が56%、「合憲」は22%、政府の説明は「不十分」が81%、「十分」はわずか8%である。慎重審議を求める声があがるのは当然であるので、この請願に賛成する。

労働者派遣法・労働基準法改正法案撤回の意見書提出を求める請願

〔反 対〕

吉 見 茂 久

派遣法改正法案は、再び不安定な雇用状態を防ぐため派遣元に雇用安定措置が義務付けられ、また、キャリアアップを進め正社員化を望む人に道を開く法案である。また、労働基準法改正法案は長時間労働を抑制することであり、多様なニーズに応じて柔軟な働き方の選択肢を増やし、ワーク・ライフ・バランスに努めることが狙いだ。

〔賛 成〕

金 澤 徹

「派遣法」改正案は、正社員を派遣に置き換えてはならないという常用代替防止原則から、「生涯派遣・正社員ゼロ」を可能にすること、また、「労基法」改正案は労働時間規制を外して残業代ゼロの労働者をつくり、多数の労働者適用の突破口となる。労働者の生活と健康破壊、過労死を招き、撤回は当然であり、請願に賛成する。

安全保障関連法案の拙速な採決をやめ、慎重審議の意見書提出を求める請願

〔反 対〕

足 立 伸 一

憲法3原則は人類の英知。第9条は堅持すべき。しかし日本周辺に危険な現実には、「平時から有事」まで切れ目のない、専守防衛に限定した法整備が必要。フルサイズの集団的自衛権は認められない。今回の安全保障法制は憲法が許す限界を議論を尽くして策定したものであり、戦争法案であるとの短絡的な決めつけには賛同できない。
(他に反対討論した議員 藤田 守)

〔賛 成〕

大 槻 富美子

平和安全法制は、自衛隊員が現実に攻撃され「殺し、殺される」危険が決定的に高まる事は明らかだ。市は「恒久平和の実現は我々の責務」と恒久平和都市宣言している。日本は今、歴史的岐路に立っている。国民の多くの支持が得られるまで慎重審議が求められることは当然のことだ。
(他に賛成討論した議員 吉見 純男)

議 会 日 誌

5月～7月



22日	6月定例会本会議	31日	全議員協議会・4年制大学のあり方検討特別委員会
19日	議会改革検討会議・議場見学（下六人部小）	30日	長会議・各派幹事会
17日	議会・議場見学（倉部小）	28日	東京都板橋区議会行政視察・委員
15日	総務防災委員会・広報広聴委員会	27日	神奈川県平塚市議会行政視察・4年制大学のあり方検討特別委員会
11日	各派幹事会・議会運営委員会	24日	三重県伊勢市議会行政視察・議会
10日	市民地域委員会	16日	愛知県津島市議会行政視察
9日	4年制大学のあり方検討特別委員会	14日	全議員協議会・各派幹事会
8日	議会改革検討会議	13日	広報広聴委員会
4日	教育厚生委員会	10日	議会運営委員会
2日	由良川改修促進特別委員会	9日	愛知県津島市議会行政視察・議会
1日	全国自治体病院経営都市議会協議会第43回定期総会	8日	会行政視察
29日	京都府市議会議長会	7日	防災委員会
28日	委員長会議	6日	由良川改修促進特別委員会・総務
19日	会・各派幹事会	3日	議会運営委員会
18日	予算審査委員会・広報広聴委員会	1日	予算審査委員会・各派幹事会・議会運営委員会・委員長会議
14日	5月臨時会本会議・予算審査委員会・各所管別常任委員会・議会運営委員会・各派幹事会		
13日	行政視察		
12日	各派幹事会・全議員協議会・所信表明会・静岡県駿東郡長泉町議会	29日	市民地域委員会・総務防災委員会
8日	全議員協議会・各派幹事会	26日	総務防災委員会・4年制大学のあり方検討特別委員会
7日	全議員協議会・各派幹事会	25日	市民地域委員会・総務防災委員会
5月臨時会本会議・各派幹事会・所信表明会		24日	予算審査委員会・各所管別常任委員会
5月臨時会本会議・各派幹事会・所信表明会		23日	6月定例会本会議
5月臨時会本会議・各派幹事会・所信表明会		22日	6月定例会本会議

由良川改修促進特別委員会活動報告

7月7日に国交省近畿地方整備局福知山河川国道事務所田中副所長・菅調査第一課長から、平成27年度河川事業計画について説明を受けた。

平成27年度予算概要

平成27年度の当初予算としては一般改修71億1600万円、河川維持5億3800万円、床上浸水対策特別緊急事業費4億3000万円を計上し、80億8400万円の予算を執行していくことになる。一般改修費では由良川中流部の連続堤防整備、河道掘削など、下流部では、輪中堤整備や宅地嵩上げを進捗させる。河川維持費は、堤防除草、護岸などの改修、河川の巡視などの適切な維持管理を行う。床上浸水対策特別緊急事業では、国、府、市が連携し、ハード・ソフトが一体となった総合的な治水対策を実施していく。



相良川水門建設予定地(私市)

緊急的な治水対策

中流部の治水対策では、下流部の整備状況を勘案し、バランスをとりながら、連続堤防約6800mを整備する。また堤防を整備していく中で目標とする水位まで低下させるために河道掘削などを行っていく。下流部においては、宅地約3600mの輪中堤や地嵩上げにより効果的な治水対策を実施する。

総合的な治水対策

国が弘法川排水機場のポンプ(常設)の新設、荒河・法川緊急排水設備(可搬)



宮の奥川堤防工事現場(北有路)

現地視察

福知山河川国道事務所北川建設専門官から私市の相良川水門建設予定地および北有路堤防の説明を受けた。

の増強を実施する計画で、限られた用地でポンプ設置場所・発電機・削池をいかに整備するかなどを検討する設計を実施している。京都府と福知山市と連携を図りながら平成27年度から5年計画で平成26年8月豪雨での家屋の床上浸水被害を約95%解消できるよう取り組んでいきたい。

市民の声



市民の皆さまからいただきましたご意見の一部を紹介させていただきます。

議員の質問や議会運営について

問 傍聴して事前に質問事項も定められていて議会が型的になりすぎている様に感じたが。

答 質問に対して直ちに的確な答弁を求めるためにヒアリングを行い、傍聴者に分かりやすくするためです。

問 毎回同じような質問が多く、国の政策よりもっと身近なことを議論しては。

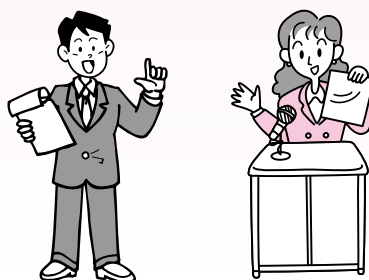
答 国の政策が地方に影響したり反映されている面も多分にあります。そのような中において、少子高齢化、地方創生が問われている昨今、努めて身近な課題を議論する場を持ちたいと考えます。

議員活動について

問 議員さんが多いが何をしているのか。市民には見えない。もっと地域に外向き声を聞いたり、見て欲しい。

答 広報広聴委員会としても、市民の皆さまのご意見を聴く機会を設けるとともに、関心がもてる分かりやすい議会報告会の開催を目指します。興

味が湧き分かりやすい議会だよりの発行、ホームページによる情報公開など、より開かれた市議会運営に努めたいと考えております。



その他、府道の整備や歩道の除雪、上夜久野駅の駐輪場の整備、夜久野の英語教育、成美大学について、給食センターについてなどの数多くのご意見ご要望をお寄せいただきました。

今後も多くの皆さまの議会への傍聴やご意見をお待ちしています。

本会議・委員会を傍聴しませんか

所定の用紙に氏名を記入し、傍聴席において傍聴できます。

なお、団体で傍聴を希望される場合は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

福知山市役所来庁舎駐車場を利用される方は、90分を越えると無料駐車券を発行しますので、市議会事務局まで申し出てください。

※委員会など（本会議を除く）の会議には、お茶または水を持ち込むことができます。

9月定例会の予定(52日間)

9月2日(水)	本会議 〔提案理由説明(補正予算、条例など)〕	9月24日(木)	予算審査委員会(全体会)
11日(金)	本会議 〔質疑～委員会付託(補正予算、 条例など)、提案理由説明(決算)、 一般質問〕	28日(月)	本会議 〔委員長報告～採決(補正予算、 条例など)〕
14日(月)	本会議 〔質疑～委員会付託(決算)、一般質問〕	29日(火)	決算審査委員会(所管別質疑)
15日(火)	本会議〔一般質問〕	10月1日(木)	決算審査委員会(所管別質疑)
16日(水)	予算審査委員会(全体会、分科会) 常任委員会	5日(月)	決算審査委員会(所管別質疑)
17日(木)	常任委員会	6日(火)	決算審査委員会(予備日)
		14日(水)	決算審査委員会 (総括質疑、討論、採決)
		22日(木)	本会議〔委員長報告～採決(決算)〕
		23日(金)	(会期)

※この議会予定は、今後変更になる場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議を随時開催します。

手話通訳による本会議の傍聴ができます

聴覚に障害を持つ方が本会議を傍聴できるよう、傍聴席において手話通訳を行っています。

手話通訳を希望される方は、傍聴を希望される日の14日前までに、所定の用紙に必要事項を記入の上、議会事務局へ提出してください。ただし、手話通訳者および会場の都合により、お受けできない場合もあります。

○申請書は、福知山市議会のホームページからもダウンロードできます。

○申し込み先／福知山市議会事務局

〒620-8501 福知山市字内記13-1(市役所5階)

電話：24-7031 FAX：24-7080 e-mail：sigikai@city.fukuchiyama.lg.jp

「議会改革度ランキング2014」

昨年に引き続き大幅ランクアップ！

★早稲田大学マニフェスト研究所

福知山市議会 **27位** (昨年は37位)

(対象は全国都道府県、市区町村議会全1789議会)

福知山市議会では、平成25年4月に「議会基本条例」を施行し、市民に信頼される議会づくりに取り組んでいます。今後も議員が一丸となって、「より開かれた議会」を目標に、議会改革に取り組んでまいります！

※()内は昨年度調査による順位

調査は、議会の情報公開、議会への住民参加、議会の運営方法など、各項目によるアンケート調査をもとにランキングされたものです。

本会議をもっと身近に

スマートフォン・タブレット端末でも
ご覧いただけるようになりました！

本会議のライブ中継・録画配信が、ご自宅などのパソコンのみの対応から、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。

ぜひ、ご利用ください。

ご利用は福知山市議会のホームページから！

<http://fukuchiyama-shigikai.jp/>

福知山市議会

検索

「元気やま福知山」

No.16

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：藤田 守・井上 修

いもやま
居母山クラブ 「わしらは地域密着、地域活性じゃ、楽しけりや人は集まる！」

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人に、取材先を募集し、議員が訪問します。

居母山クラブは「自然を愛し、人を愛し、地域を愛し、酒を愛す」をモットーに昭和59年に結成されました。

「地元の仲間たちと気楽に楽しめかゆうて集まったのが始まりで、今じゃ50人を超える大所帯のクラブになってもうての、

わしらは形のない自由なクラブでな、楽しいからこそ、自然にみんながわけへだてなく集まってきてくれるんやと思うで。着飾ることなく、肩の力をぬいて、自然体で遊ぶ。大人が真剣に遊ぶさかい子どもも楽しいんちゃうか。」と飯尾会長から話を聞いたのはレトロな建物のだるまストー

ブを囲んででした。男心をくすぐるではありませんか、小学生時代のストープ当番、コークス当番を思い出しました。豆知識ですが、

「結成から31年、メンバーには各分野で熟練者がいて手弁当でお金を使わなくてもいろんな事ができる。だからこそ、わしらは補助金とか貰わんでも活動できるんとかいうか。ほんますごいこっちゃで、素晴らしい仲間に恵まれたわい。」

5月に開催した、田んぼアートも今年で12回をむかえました。大阪、奈良、姫路方面から、上下夜久野の駐在所の家族、70名で「ポリスみやこ」をモチーフ



参加者の食事作り

にアートされました。大迫公民館では男性陣がビール片手にモロコの揚げ物担当、台所では楽しそうに、女性陣が地元



「ポリスみやこ」の田んぼアート作業

田植えの疲れは大きな五右衛門風呂で癒してください。



今では多くの地域密着イベントを手がけて成功

されています。他にも夜久野学園たつぷりどっぶりツアー、健康武奈ヶ岳登山、7月には100名あまりで泥んこドッジボール大会でおおいに盛り上がりました。

「結成から31年、メンバーには各分野で熟練者がいて手弁当でお金を使わなくてもいろんな事ができる。だからこそ、わしらは補助金とか貰わんでも活動できるんとかいうか。ほんますごいこっちゃで、素晴らしい仲間

に恵まれたわい。」居母山に来たら楽しんでくれ、楽しけりやーそれでええんじゃ。」

飯尾会長、また、おじやまします。(今夜は備前焼の御猪口で...)



平成26年8月豪雨災害から1年が経とうとしています。改めて、被災されました皆さまにお見舞いを申し上げます。議員活動も本格的に始動しはじめ、新たな課題に向かって努力をしております。各常任委員会への所属も決まり、決意を新たにスタートに立っています。当委員会のメンバーも大幅に変わりました。わかりやすい議会だよりを皆さんに届けられるように頑張ります。

(広報広聴委員会)

編集後記